

IHSS
Kinki Univ.

近畿大学
健康スポーツ教育センター研究紀要

創刊号 第1巻 第1号

2001

〈原著論文〉

本学生の身体組成について……………浜田吉治郎…………… 1
—水中体重測定を中心に—

スポーツと癒し……………津田忠雄…………… 11
—スポーツ選手が「自分の物語」を生きることについて—

〈研究資料〉

球技の戦法、一般戦術と特殊戦術に関する一考察……………中本道昭…………… 31

近畿大学学生の健康とスポーツに関する調査研究……………津田忠雄…………… 41
—生涯スポーツのあり方をめぐって— 入川松博

The Research Bulletin of Health and Sports Sciences
Volume 1, Number 1
2001

Institute of Health and Sports Science
Kinki University

近畿大学
健康スポーツ教育センター研究紀要

第1巻 第1号
(創刊号)

2001

近畿大学健康スポーツセンター

近畿大学 健康スポーツ教育センター研究紀要

第1巻第1号 創刊号 2001

目次

〈原著論文〉

本学生の身体組成について……………浜田吉治郎……………1
－水中体重測定を中心に－

スポーツと癒し……………津田忠雄……………11
－スポーツ選手が「自分の物語」を生きることについて－

〈研究資料〉

球技の戦法、一般戦術と特殊戦術に関する一考察……………中本道昭……………31

近畿大学学生の健康とスポーツに関する調査研究……………津田忠雄……………41
－生涯スポーツのあり方をめぐって－
入川松博

近畿大学健康スポーツ教育センター

The Research Bulletin of Health and Sports Sciences

Vol. 1 No. 1

2001

CONTENTS

Original investigation

An Analysis of the Body composition of Kinki University Students
from the Results of Underwater MeasurementsYoshijiro Hamada.....1

Sports and Healing

—Consideration about the thing that the athlete lives "A Self Story"—Tadao Tsuda.....11

Material

A study on art war, general tactics and special tactics in ball gamesMichiaki Nakamoto.....31

Investigation research on the Kinki University student's health and sport Tadao Tsuda41
—The state of a lifelong sports is revolved—
Matuhiro Irikawa

近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要寄稿規程

1. 本誌に寄稿できるのは近畿大学健康スポーツ教育センター専任教員に限る。但し、編集委員会が必要と認めた場合は専任教員以外にも寄稿を依頼することができる。
2. 寄稿内容は、体育学研究領域における総説、原著論文、研究資料（報告）、実践報告、研究・教育上の問題提起とし完結した未発表のものに限る。
3. 原稿掲載の時期は、編集委員会において決定する。
4. 本誌に掲載された原稿は原則として返却しない。
5. 原稿は 400 字詰、横書原稿用紙 A4 版にワープロまたはインキ書きとし、本文はひらがな現代かなづかいとする。外国語をかな書きする場合はカタカナとする。
6. 原稿は原則として研究・教育上の問題提起などは図表を含めて上記原稿用紙 20 枚以内とし、総説、原著論文、研究資料（報告）、実践報告は 50 枚以内とする。
7. 図・表、原稿は必ず、A4 版以内の大きさとし、直接印刷原稿のとれるよう黒インクによりトレースするか、数表文字はタイプ打ち、または活字を使用すること。写真は白黒写とし、方眼紙は薄藍色めものを使用する。
8. 表・図・写真にはそれぞれ通し番号とタイトルをつけ、1 枚毎に台紙または原稿用紙にはり、本文とは別に番号順に一括する。また、必ず本文の図・表挿入箇所を赤インクにより指示すること。
9. 引用文献は、原則として、本文の最後に著者名を ABC 順に一括し、雑誌の場合には、著者・題目・雑誌名・巻号・ページ・西暦年号の順とし、単行本の場合は著者・書名・版数・発行所・西暦年号・ページの順に記載する。なお、引用および注記の仕方の詳細は、日本体育学会発行、体育学研究「寄稿の手引き」を参照すること。
10. すべての原稿には表題、所属、氏名の欧文を必ず添付すること。但し、原著論文については 200 語以内の欧文抄録と、その和訳を添付すること。
11. 原稿はコピーを含め、合計 3 部と原稿がセーブされたフロッピーディスク 1 枚を提出すること。また、論文内容が主として関係する研究領域と論文の分類を明記すること。
12. 本文、そのほかに使用した欧文はすべてタイプ打ちか活字を使用すること。
13. 共著の場合には、著者名とその所属を明記すること。
14. 共著者として氏名を出すものは、その論文の全般にわたり責任をもって応答できる共同研究者に限る。
15. 原稿は近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会に提出すること。

16. 本規程に反しているものは掲載しない。
17. 本規程の改定に健康スポーツ教育はセンター会議の議決（過半数）を必要とする。
付則：本規程は2002年1月1日より施行する。

健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会内規

1. 健康スポーツ教育センター規程第7条により、健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会（以下委員会）を置く。運営は本規程により行うものとする。
2. 委員会は近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要の英文名（The Research Bulletin of Health and Sport Sciences）の編集に関して次の任務にあたる。
 - （1）編集発刊に関する一切の業務
 - （2）寄稿された論文の審査依頼、原稿の分類および原稿掲載可否の決定
 - （3）その他、編集に関する事項
3. 委員会は健康スポーツ教育センター会議により選出された委員若干名をもって構成する。委員の任期は2ヶ年とし、再任を妨げない。
4. 委員会に委員長をおく。委員長は委員の互選により選出する。
5. 論文審査のための論文査読委員は委員会の推薦により健康スポーツ教育センター長がこれを委嘱する。
6. 論文の審査規程および編集に関する事項は委員会において別に定める。
7. 委員会は査読担当者の評定に基づいて原稿の取捨を決定する。
8. 委員会の召集、開催については委員長が行う。
9. 本規程の改定には、健康スポーツ教育センター会議の議決（過半数）を必要とする。
付則：本規程は2002年1月1日より施行する。

近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集内規

1. 近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要は、年1回発行するものとし、その時期は3月1日とする。
2. 本研究紀要は掲載する論文は原則として次の通りとする。

(1) 総説 (2) 原著論文 (3) 研究資料(報告) (4) 実践報告 (5) 研究・教育上の問題提起など

3. 投稿者には別刷り 50 部を進呈する。
4. 本規程の改定には健康スポーツ教育センター会議の議決(過半数)を必要とする。
付則：本規程は 2002 年 1 月 1 日より施行する。

近畿大学健康スポーツ教育研究紀要論文審査内規

1. 本規程は、健康スポーツ教育センター研究紀要編集委員会規程に基づくものとする。
2. 編集委員会に提出された原稿は、寄稿者の希望する研究領域を参考として、委員会によって推薦された審査員の審査を受けるものとする。
3. 寄稿者あるいは共同研究者は、その論文の審査員になることはできない。
4. 担当審査員は寄稿論文が健康スポーツ教育センター研究紀要寄稿規程に示された基準に沿っているか否かを検討し、掲載の適否を概要 3 段階によって評定し、その結果と根拠を編集委員長に報告する。
5. 論文審査の期間は原則として 3 週間以内とする。
6. 審査員が論文審査に困難を生じた場合には審査結果の報告書に次の事項を記入し、論文受領後 1 週間以内に編集委員に送付する。
 - (1) 困難な理由
 - (2) 他に審査員として適当と思われる人
 - (3) その他の意見
7. 本規程は近畿大学健康スポーツ教育センター研究紀要編集規程 2. の総説、原著論文、研究資料(報告)、実践報告、問題提起の審査に適用する。
8. 本規程の改定には健康スポーツ教育センター会議の議決(過半数)を必要とする。
付則：本規程は 2002 年 1 月 1 日より施行する。

編集後記

教養部改組により、平成13年度から「健康スポーツ教育センター」が誕生した。このことは、教育・研究に携わる私達教員にとって、更なる研鑽が望まれ必要とされることを内包している。その基本理念は、次の一文をもって語ることができる。「さて身体の強化発達は望ましきことながらここに特に留意すべきは一方において強健なる身体を完成せしむるとともに他面において精神力の修養錬磨が併せ達成されねばならないことである」—(六若人に寄す并引世耕弘一)。

教育と研究に取り組む私達教員の姿勢は、教育のみでなく、研究のみでもなく両課題を一元的にとらえ、学生主体に展開されるべきものである。本紀要は、若人=学生が生涯に渡って進歩発達の一助となるべく、教育・研究に邁進する始めの第一歩である。 (文責 入川松博)

執筆者紹介(目次順)

浜田 吉治朗 助 教 授

津田 忠 雄 助 教 授

中本 道 昭 助 教 授

入川 松 博 助 教 授

編集委員会

委 員 入川 松 博

佐川 和 則

津田 忠 雄

(五十音順)

近畿大学健康スポーツ教育センター紀要 第1巻第1号創刊号 2001年
(通巻第1号)

平成14年3月25日 印刷

平成14年3月31日 発行

発行人 松 本 晃 雄

発行所 近畿大学健康スポーツ教育センター

577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

印刷所 近畿大学 管理部 出版印刷課

KINKI UNIVERSITY

3-4-1 Kowakae, Higashiosaka-shi, 577-8502 Japan
